

# 基盤地図情報を活用したDXF出力

座標データの消失の際の位置合わせに有効

CADユーザーのために、地理院地図のベースとなっている基盤地図情報を、GISデータ形式からCADデータ形式へのデータ変換の作業をすることなく、任意の範囲をDXFファイル形式で出力し提供する。

このDXFを利用した工事計画等の設計CADデータは、地理空間情報へ取り込むための最低限必要な要件を保持し、GISによる相互活用や基盤地図情報の更新における効率的な更新元データとして、使用できるデータとなります。

## DXFデータの提供目的

基盤地図情報が整備されたのを機にGISを活用した情報の共有は始まった…

しかし、基盤地図情報が更新されないとGISの発展は、難しいのでは…

そのため、

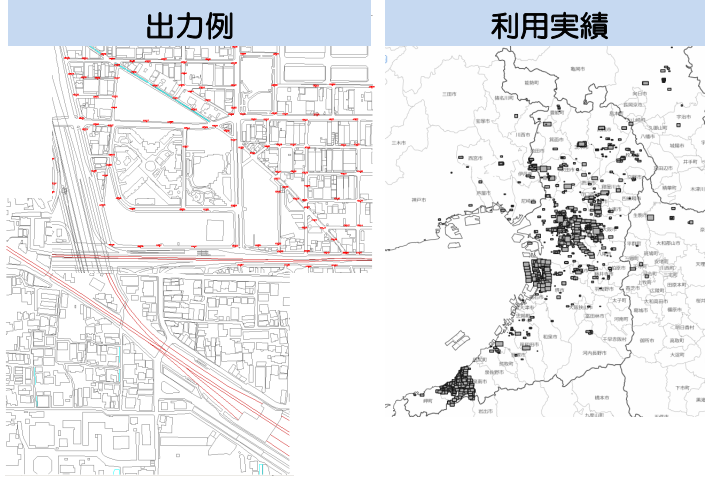
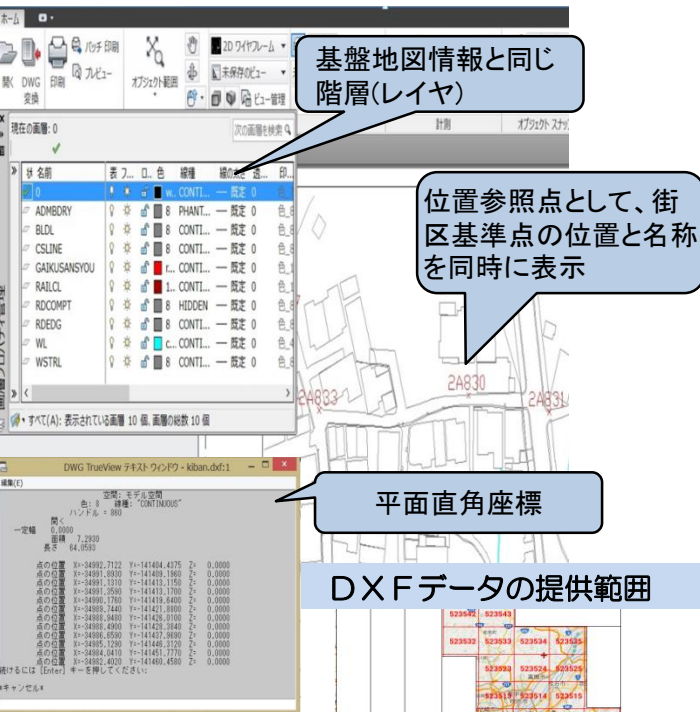
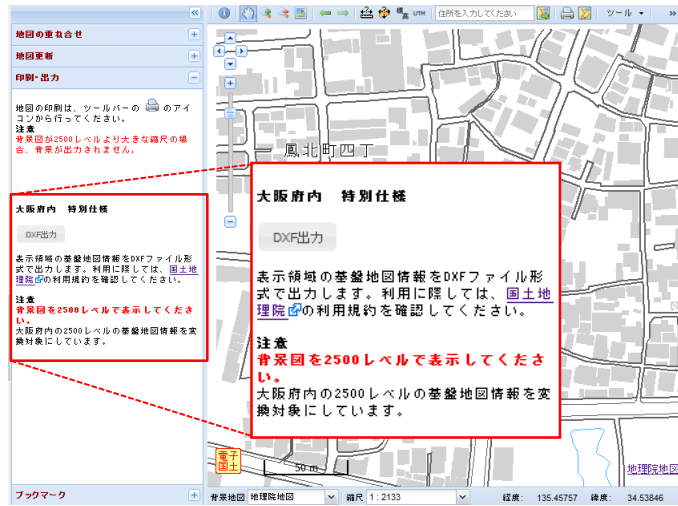
- ・電子地図の位置の基準である基盤地図情報を日常の工事図面作成の段階からの有効使用
- ・基盤地図情報の更新に使用できる図面の作成を支援
- ・基盤地図情報の活用推進とスパイラルアップへの貢献
- ・今後、i-Constructionにかかる背景地形図の作成に使用することで、測量・設計から、施工、管理に至る全プロセスの情報化への情報基盤となることが期待できる。

## 出力されたDXFデータの特徴

- ・基盤地図情報の地物構成と同様の階層(レイヤ)構成
- ・CADでの作業に適した平面直角座標に変換
- ・街区基準点などの位置参照点のポイントや名称を含む

## DXFデータの取得

- ①住所検索機能なので対象地域を選択
- ②対象区域が確定したら[DXF出力]のボタンをクリック(1/2500レベル以上で)
- ③ダウンロードして、表示又は保存



多くの現場で仕事をされている皆さんに、基盤地図情報を日常的に活用していただくことを願っています。

開発者 GIS大縮尺空間データ官民共有化推進協議会 (大阪府GIS官民協議会) 支援グループ  
問合せ先 (一社)大阪府測量設計業協会  
E-mail oosakass@oak.ocn.ne.jp